

『トイレの神様』の歌がヒットし、その歌の内容に我が身を置きかえ、思いをつなげた方も多いのではないのでしょうか。

私も妊娠中に母親から「トイレを毎日ピカピカにするときれいな子どもが生まれますよ」と言われ、一生懸命お掃除をしていたことを思い出しました。きっと生まれてくる孫に對するおばあちゃんの思いが含まれていたのではないのでしょうか。

核家族が進み、祖父母との同居型は少なくなってきました。しかし形はどうあれ、子どもたちにとっておじいちゃん、おばあちゃんは大切な存在です。

子育てをテーマに講演をされている石井弘一さんの『じいじからのメッセージ』（0歳からはじまる幼児教育誌EDA（幼児開発協会）の中に、

「・・・祖父母の孫に對する愛情は無条件です。何か特定の条件をおしつける願望は持ちません。孫が失敗をしても、その姿そのものが純粹にかわいく、その失敗が孫にとってかけがえのない経験になることを知っているからです。また、子どもは祖父祖母のそばにいて、幼いなりに自分をじっくりと見つめながら、自分を主人公にしてのびのびと過ごすことができます。祖父母は孫の人生脚本に色を添える、親世代とは一味もふた味も違う隠

し味と言えるでしょう。

我が子を完全に効率よく育てたいと思うのは、ごく当たり前の親心です、しかし子どもの人生をより豊かなものにするために、親の愛情にプラスして、おじいちゃん、おばあちゃんの隠し味もぜひ子どもたちに味わわせてあげていただきたいと思えます。・・・」

敬老の日を迎えると私はいつもこの文章を思い出します。

我が子が成長し悩んでいた時、母が孫にこう話しました。

「おばあちゃんはあなたがこんなに大きく、元気に育ってくれて、本当にうれしい、それだけで幸せよ。」

まっすぐなその言葉は、自分がどれだけ愛され、大切な存在かを受け取ることができたに違いないはずだ。成長の中で、ふと気が付くといつもやさしく見守ってくれるおじいちゃんやおばあちゃんがいる。その存在は、子育てにひとまわり大きな影響を与えてくれることでしょう。

おじいちゃん、おばあちゃんとの関わりは、子どもの人生脚本に色を添えてくれます。

早いもので、あつという間に今年もあと1か月となつてしまいました。冬休みには、おじいちゃん、おばあちゃんも含め、御家族みんなにぎやかに過ごしたいですね。



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第281回

# 「メッセージ」

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

## 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています（10,500部発行）ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：行政管理課 秘書広報担当

### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄